

# 北 海 道 文 化 賞

ふか や ゆう だい  
深 谷 雄 大

かねて私淑していた石原八束の「秋」創刊に参画、その系譜を継ぐ。のち、主宰誌「雪華」を創刊、活動の一環として統一主題による「雪華俳句展」を32年にわたり開催。創作活動のみにとどまらず、20年以上にわたり俳句講座や高齢者大学の講師を務めるなど自らの知識を道民に還元し、その活動は全国でも高い評価を得ている。

雪を媒体とした創作活動に一貫して取り組み、「雪の雄大」とも称されている。

現在、現代俳句協会理事、北海道俳句協会委員、北北海道現代俳句協会会長など要職を務め、道内俳句界の発展に尽力している。

- S 23 14歳から独学で俳句を始める
- S 30 詩歌総合誌「叢雲」発行人
- S 33 同人誌「未明」編集人
- S 38 「秋」創刊に参画
- S 43 北海道俳句協会委員
- S 46 区会を主宰し、後進の指導を始める
- S 53 主宰誌「雪華」の創刊
- S 55 「雪華俳句展」開催（現在に続く）
- S 56 旭川市文化奨励賞受賞
- S 57 日本ペンクラブ会員
- S 59 旭川俳句連盟理事
- S 60 日本文藝家協会員
- S 63 第1回北海道現代俳句賞受賞
- H元 日本現代詩歌文学館評議員
- H 2 北北海道現代俳句協会会長、旭川文化芸術協議会副会長（～H20）
- H 3 現代俳句協会理事
- H 9 旭川ななかまど文化賞受賞
- H10 鮫島賞受賞
- H11 北北海道現代俳句協会大賞受賞
- H13 旭川文学資料友の会顧問
- H14 国際俳句交流協会評議員  
旭川市文化賞受賞
- H22 「朝日新聞」北海道版俳壇選者